



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年10月26日（木）第56号



【目次】

1. 東北農政局 11月24日は「和食の日」
2. 農林水産省 令和5年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」受賞団体が決定
3. 農林水産省 「#食べるゼニッポン」水産物消費応援キャンペーン
4. 国税庁 岩手の清酒がGI登録認定
5. 農林水産省 「高校生とつながる！つなげる！ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」受賞アイデアが決定
6. 文化庁 第3弾「100年フード」及び「食文化ミュージアム」の募集
7. 東北農政局 「加工食品の輸出促進」ページが新しくなりました
8. 秋田県横手市 農業技術研修募集に「いぶりがっこコース」新設
9. 福島県 「米粉・おむすびレシピコンテスト」が開催されました
10. 福島市 「納豆のまち・福島」料理コンテスト開催中
11. 農林水産省 「りんごを使ったカフェメニューコンテスト」募集中
12. 日本食糧新聞社 ファベックス「惣菜・べんとうグランプリ 2024」募集中
13. 日本農業法人協会 「ファーマーズ&キッズフェスタ 2024」出店募集
14. 農林水産省 「aff」 10月号について

=====

1. 東北農政局 11月24日は「和食の日」

=====

現在、私たちはさまざまな料理や食品を手軽に食べられるようになりましたが、このような時だからこそ、和食をもっと身近な存在に感じてもらうこと、その素晴らしさを守り続けながら次世代につなげていくことが必要です。

平成25年12月に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されるとともに、11月24日が「和食の日」（「いいにほんしょく」の語呂合わせ）に制定されました。

「和食の日」に合わせて、東北農政局消費者展示コーナーでは、和食文化の魅力を伝え、その保護・継承を推進するため、東北地域の郷土料理やその歴史・レシピ等を紹介するとともに、子育て世代の方に向けたパンフレットやお子様向けのすごろく等を配布します。

是非、御来場下さい。

展示期間：令和5年11月16日（木）～11月30日（木）

展示場所：仙台合同庁舎B棟1階 行政情報プラザ

=====

2. 農林水産省 令和5年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」受賞団体が決定

=====

この事業は、農山漁村における「むらづくり」の優良事例の表彰を行うことにより、むらづくりの全国的な展開を助長するとともに、地域の連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的に、農林水産祭表彰行事の一部門（むらづくり部門）として実施しています。

東北ブロックからは、在来ソバの生産振興に向け、地域資源や個々の住民の特性を最大限に生かした地域づくりが評価された「鶴岡市の越沢自治会」の内閣総理大臣賞をはじめ、4団体が受賞しました。

★ 内閣総理大臣賞

- ・山形県 鶴岡市 越沢自治会

★ 農林水産大臣賞

- ・秋田県 にかほ市 横岡集落

★ 東北農政局長賞

- ・岩手県 金ヶ崎町 よこみちファーム株式会社
- ・福島県 下郷町 倉区

【東北農政局HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/231011.html>

【東北農政局HP】受賞概要はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/attach/pdf/231011-7.pdf>

=====

3. 農林水産省 「#食べるぜニッポン」水産物消費応援キャンペーン

=====

水産業を応援するため、令和5年9月からSNSを中心に「#食べるぜニッポン」キャンペーンを行っています。

「#食べるぜニッポン」という共通のハッシュタグとロゴ画像を使い、水産物の写真を投稿していただきたいという呼びかけに、多くの皆様から美味しそうな写真を投稿していただいています。引き続き、投稿をお願いいたします。また、店舗やイベント会場などで御利用いただけるような、ロゴやポスター等の広報資材を御用意しましたので、皆様の自由なアイデアで幅広く御活用下さい。

【農林水産省HP】「#食べるぜニッポン」専用ページはこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/pr/social_media/taberuze.html

=====

4. 国税庁 岩手の清酒がGI登録認定

=====

岩手県で製造されている清酒が、知的財産として国が保護する地理的表示（GI）法に基づき、令和5年9月25日に国税庁からGI登録を受けました。

「岩手県内の名水と南部杜氏の技術に支えられた口当たり柔らかで、コメ由来の芳醇なうま味が引き出された清酒」などの特性が認められました。

清酒の GI 登録は、東北管内では山形県に次いで 2 例目となります。

【国税庁 HP】詳細はこちらから→

https://www.nta.go.jp/taxes/sake/hyoji/chiri/230925_iwate_besshi01.htm

=====

5. 農林水産省 「高校生とつながる！つなげる！ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」受賞アイデアが決定

=====

農業遺産地域の魅力を広く発信し、地域活性化を図る取組の一環として、これまで大切に守られてきた地域独自の生産技術や自然、伝統、文化をより多くの方に知ってもらい、次の世代へと受け継いでいくため、農業遺産地域の高校生による当該地域の産品を使った食品アイデアコンテストが行われ、6校が決定しました。

【農林水産省 HP】受賞校の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/231011.html>

【農林水産省 HP】受賞アイデアの詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/attach/pdf/231011-3.pdf>

【農林水産省 HP】世界農業遺産・日本農業遺産の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/>

=====

6. 文化庁 第3弾「100年フード」及び「食文化ミュージアム」の募集

=====

文化庁では、地域に根付いた身近な食文化を国内外に PR する「100年フード」の新たな候補の募集を行っています。

今年で3回目ですが、認定されると特設サイトに掲載され、共通ロゴマークが使えます。

江戸時代以前から伝わる「伝統」と、明治・大正期から続く「近代」、昭和以降に誕生し今後100年の継承を目指す「未来」の3部門になります。

自治体や食関連団体などが応募できます。

食に関する情報発信に取り組む博物館や道の駅など「食文化ミュージアム」の候補も同時に募集しています。

募集期限：令和5年11月17日（金）

【文化庁 HP】「100年フード」の詳細はこちらから→

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/pdf/93948201_02.pdf

【文化庁 HP】「食文化ミュージアム」の詳細はこちらから→

<https://foodculture2021.go.jp/about/foodculturemuseum/>

=====

7. 東北農政局 「加工食品の輸出促進」ページが新しくなりました

=====

政府の輸出額目標である2025年までに2兆円、2030年までに5兆円を達成するためには、加工食品についても更に輸出を増やしていくことが期待されています。

特に「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」では、加工食品のうち「味噌・醤油」「清涼飲料水」

「菓子」「ソース混合調味料」について、海外で評価される「日本の強み」があることから輸出の余地が大きく、関係者が一体となった輸出促進活動が効果的な重点品目として位置付けられ、重点的に支援していくことが示されました。

東北各県で開催している加工食品輸出クラスターの意見交換会の概要も掲載しています。

【東北農政局 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/kakou_yusyutu/index.html

=====

8. 秋田県横手市 農業技術研修募集に「いぶりがっこコース」新設

=====

秋田特産の漬物「いぶりがっこ」の生産者を育成しようと、横手市は来年度から新規就農者を対象とした農業技術研修に「いぶりがっこ」コースを新設しました。

食品衛生法改正による加工施設の改修や高齢化による生産者の減少が心配されており、後継者の育成と伝統食文化の継承が期待されています。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.city.yokote.lg.jp/shigoto/1001165/1003535/1003745.html>

=====

9. 福島県 「米粉・おむすびレシピコンテスト」が開催されました

=====

令和5年10月15日、福島県米消費拡大推進会議主催の「米粉・おむすびレシピコンテスト」が開催されました。

コンテストでは、福島県産のコメや米粉を使ったオリジナルレシピを競う41名の中から、郡山女子大付属高校3年三瓶莉奈さんの「福島の旨みぎゅっと佐助茄子のミラクルプレート」が最優秀賞に決定しました。

優秀賞を受賞したレシピが公開されましたので、ご覧下さい。

【外部リンク】優秀賞レシピはこちらから→

<https://komeko-omusubi.com/>

=====

10. 福島市 「納豆のまち・福島」料理コンテスト開催中

=====

納豆への年間支出額が2019年から4年連続で全国1位の福島市が「納豆の町・福島」のブランディングに乗り出しました。

機運醸成に向けた企画の第1弾として、市内の飲食店が提供する納豆料理コンテストの人気投票が始まっています。

参加30店の飲食店では「いか納豆」といった定番から「納豆ミルフィーユ」など独創的なメニューまであり、のぼり旗を立てています。

投票は、店舗備え付けのQRコードにアクセスして下さい。

投票期間は、令和6年1月末までとなります。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://fukushima-nihon1.jp/>

=====

11. 農林水産省 「りんごを使ったカフェメニューコンテスト」募集中

=====

果物は20歳以上の1日当たり摂取量の目標値が200gですが、現状の摂取量は平均100g程度となっており、特に20～50歳代で摂取不足が目立っています。

若い世代の果物の消費拡大を図るため、一般社団法人フルーツマエストロ協会主催の「りんごを使ったカフェメニューコンテスト」として、年間を通して販売されている「りんご」を使った外食向けのレシピを広く一般から募集しています。

本コンテストでは「エシカルりんご」を活用し、フードロスを減少させ、持続可能性を向上させることを目指しています。

応募期限は、令和5年11月10日（金）

【外部リンク】最新号はこちらから→

<https://www.fruitsmaestro.com/recipe2023/index.php>

=====

12. 日本食糧新聞社 ファベックス「惣菜・べんとうグランプリ 2024」参加商品募集中

=====

惣菜・デリカ・中食業界の総合見本市「ファベックス」の特別企画として、2010年より毎年実施しているプロ向けの商品コンテストです。惣菜・弁当のスペシャリスト・専門家・業界団体により構成された審査委員会により、全国より応募された選りすぐりの商品の中から、金賞・優秀賞ほか各賞を決定。中食など業界関係者数万人が来場するファベックスの会場内にて表彰式を行います。

応募期限は、令和5年11月2日（木）

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.souzai-bento.com/>

=====

13. 日本農業法人協会 「ファーマーズ&キッズフェスタ 2024」出店募集

=====

公益社団法人 日本農業法人協会は、令和6年3月2日（土）～3日（日）に代々木公園（東京都渋谷区）で「ファーマーズ&キッズフェスタ」を開催予定。出展・協力企業、団体の募集を行っています。

本イベントは、『消費者・子どもたちと農林水産業をつなぎ、子ども達に農業と食の魅力を発信。未来の懸け橋となることを目指した体験型イベント』です。

子どもたちへの「食」と「農林水産業」の魅力発信の場として、また、都心の消費者及び全国の食品・農業関連企業、団体に向けた貴社PRの機会として、大規模な食育イベントであるファーマーズ&キッズフェスタを是非御活用下さい！

申込期限：令和5年11月17日（金）

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://hojin.or.jp/information/fk2024/>

=====

14. 農林水産省 「aff」 10月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」の偶数月連載の「旅する農業遺産」では、埼玉県武蔵野の落ち葉堆肥農法が公開されました。

特集は、減らそう「食品ロス」です。本来たべられるのに捨てられる「食品ロス」。

現状と解決のためのさまざまな取り組みを紹介しています。

【農林水産省 HP】「aff」最新号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>